

申請サポートプログラム セルフチェックリスト

ピンク：回答・入力必須欄です。入力すると背景が白に変わります。

自組織名	
------	--

本資料は審査には使用しません。ワークショップ前の予習やフィードバック面談時に使用する想定のため、ありのままを記載してください。

申請サポートプログラムのエントリーについて		確認事項	補足説明	回答・入力欄
	本プログラムは、2026年度資金分配団体（通常枠）に公募申請を予定している方を対象としたサポートプログラムです。		2026年度に申請予定のない方の申込みはご遠慮ください。なお、本プログラムに参加するためには、申込み時・ワークショップ/ブラッシュアップ後に、公募申請書類の一部をご提出いただきます。こちらを実施する前提でお申込みください。	
	本プログラムの対象は、過去に休眠預金活用事業で資金分配団体（通常枠）・活動支援団体で採択された経験がない団体です。		・資金分配団体（緊急枠）だけ採択されたことのある団体は対象です。 ・コンソーシアム構成団体として資金分配団体（通常枠）に採択された団体は対象外です。	
	本プログラムに申込み申請予定の事業は、休眠預金活用制度における資金分配団体（通常枠）（実行団体に対して助成を行う団体）としての事業です。		・実行団体としての申請を検討されている場合の申込みはご遠慮ください。なお、申請団体で迷われる場合には、 <a href="#">申請休眠預金活用プラットフォーム（休ブラ）の公募ページ</a> にある「申請団体判別チャート」もご参照ください。	
	申請予定事業は、コンソーシアムを組成しての申請を予定していますか。		・コンソーシアムを組成される場合も、すでに通常枠を経験されている資金分配団体は対象外となります。これまで休眠預金活用制度で資金分配団体（通常枠）・活動支援団体として事業を実施していない団体のみご参加いただけますようお願いいたします。 ・コンソーシアムを組成される場合も、申請サポートプログラムのエントリーは1団体毎にお願いします。	
申請事業について				
(1)	休眠預金活用制度で設定している優先的に解決すべき社会の諸課題に合致していますか。		優先的に解決すべき社会の諸課題以外にも社会の諸課題の解決において多大な影響や効果が期待され、優先して取り組むべきものは申請の対象となります。事業計画の「優先的に解決すべき社会の諸課題」欄のその他に記述ください。	
(2)	今回の申請で取り組む課題は何ですか？ 「当事者（誰が）」「理想の状態（どのような状態）」を簡潔に一文で示してください。		事業計画書に記載した内容を基に、記載してください。	
(3)	なぜその課題に取り組もうと思われましたか？		ワークショップでは団体内でのグループワークも予定しています。この機会に、申請事業を検討している団体の皆さま同士で、ワークショップ前に語り合ってみてください。	
(4)	「当事者（誰が）」において、当事者または当事者に近い関係者複数名から、声を聴きましたか？どのような声がありましたか？		様々なお声がある場合には、特に申請事業で大切にしたいと考えた声を中心に3つ程度を目安に記載してください。	
(5)	「理想の状態（どのような状態）」をつくるために、これまでどのような取り組みをされましたか？ そして、なぜ「理想の状態」が達成できていないのですか？		-	
(6)	「理想の状態」に向けて、資金分配団体として実現したいことは何ですか。		-	
公募要領等で定めているガバナンス・コンプライアンス体制について				
		確認事項	補足説明	入力欄
(1)-1	事務局が適正に運営できる体制は整備できていますか。具体的には、常勤・有給職員は1名以上配置されていますか。		-	
(1)-2	上記(1)-1で「1名以上いるが、体制面に正直不安はある」または「現在は1名以上配置できていない」の場合に、事業が採択された場合の不安要素や予定されている体制を記載してください。		-	
(2)	組織としての意思決定が理事会や取締役会又は複数理事等で行う体制になっていますか。		-	
(3)	各理事について、当該理事及びその配偶者又は3親等内の親族等である理事の合計数（または他の同一の団体の理事である者その他これに準ずる相互に密接な関係にある理事の合計数）が、理事の総数の3分の1を超えていませんか。（監事についても同様） ※株式会社の場合は、「理事」を「取締役」、「監事」を「監査役」に読み替えてください。		参考：公正な事業実施について	
(4)-1	法的には事業監査及び会計監査を行う機関（監事・監査役）の設置が義務付けられていない組織の場合も、当該機関設置又はそれに代わる仕組み（外部監査など）を備えていますか。		参考：公募要領_第II編_申請について_3章_審査について_03_ガバナンス・コンプライアンス体制等の確認等	
(4)-2	上記(4)-1で「備えていない」場合に、事業が採択された場合には、どのような体制を予定しますか。		-	
(5)	ガバナンス・コンプライアンスの体制面で、特定の企業・団体等から独立していますか？		参考：公募要領_第I編_公募について_3章_助成対象となる団体_03_申請資格要件	
(6)	休眠預金活用制度では所定の規程整備を求めています。申請までに整えることができますか。（一部やむを得ず整備できない場合には、採択された場合に資金提供契約締結までに整えることが求められます。）		参考：公募要領_第II編_申請について_1章_申請手続き_03_申請に必要な書類	
公募申請にあたって				
	休眠預金活用事業を実施するにあたって課題と考えていることはありますか？ある場合には記載してください。			